



真龍小便り

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.11 令和5年12月22日発行

「やる気のスイッチ」

校長 斉藤直彦

「あなたはさ～、自分のやりたいことはすぐにやるけどさ、私が頼んだことは、ほんとにすぐにやってくれないよね。」

よく、私が、妻に言われる言葉です。(恥を忍んで自己開示します・・・)

家ではこのような感じで、自分の好きなことはすぐにスイッチが入りますが、妻の頼みごとに対しては、「妻の喝」がないとなかなかやる気スイッチが入りません。

でも、どうせやるなら能動的、主体的に自らやる気のスイッチをオンにして取り組んだほうが、妻も自分自身も気持ちよくできるのかなあ、と考えています。

子どもたちも同様で、というか、子どもだからこそ、「喝を入れられて」スイッチを押されるよりは、自ら、自分の意志でスイッチを押して取り組む方が、自身の学びや成長につながりますよね・・・。

先日、私は、インフルエンザにかかってしまい、学校を3日ほど休んでしまいました。療養期間を終えて、出勤すると教頭先生から、

「校長先生がお休みの間に、地域の方から、電話があったのですが、その方は、地域の回覧板で回ってくる真龍小学校の学校だよりを見ていただいているようで、校長先生が書いている文章に感銘を受けているよ、というようなお話をしてくださいました。」という報告を受けました。

この時、私は、仕事復帰一日目でもあったので、月末にやらなくてはならない仕事が溜まっていました。その一つに、この学校だよりの原稿も含まれていて、やる気スイッチを入れようともがいている真っ最中でした。



ところが、このお話のおかげで、私のやる気スイッチがしっかり入り、あわせて、書こうとするテーマまでいただけました。

何を伝えたいかという、このように、人から関心を持ってもらえることは、その人にとって大きな勇気づけになるということです。やる気スイッチも入ります。55歳になる私でもそうです。であれば、子どもたちもそうなんじゃないでしょうか。

私たちは、教師として、子どもたちにたくさん関心を寄せて、子どもたち自身が、「自分で自分のやる気スイッチを押せる」ような応援をこれからもしていきたいなあ、とあらためて考えた年の瀬でした。

今年1年大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。

日	曜	1月の主な行事
1	月	元日
2	火	学校閉庁日
3	水	学校閉庁日
4	木	学校閉庁日
5	金	学校閉庁日
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	冬休み終了
17	水	後期第2ステージ開始 講話朝会
18	木	短縮日課 街頭指導 読み聞かせ(3年中休み) 冬休み作品展(～25日)
19	金	短縮日課 街頭指導 スケート学習(4・6年)
20	土	
21	日	
22	月	生活リズムチェック週間 計算カテスト実施週間 スケート学習(2・3年)
23	火	短縮日課 交通安全指導日
24	水	スケート学習(1・5年) 委員会②
25	木	短縮日課
26	金	スケート学習(2・4・6年)
27	土	
28	日	
29	月	講話朝会 スケート学習(1・3・4年)
30	火	短縮日課
31	水	短縮日課 スケート学習(2・3・5年)

「ながら見守り」のお願い

1月の帰宅時刻 16:00

この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

4年生総合「生きがい大学」交流学習

12月8日（金）4年生の児童が厚岸町教育委員会生涯学習課の事業「生きがい大学」のみなさんとの交流学習を行いました。4年生では現在、地域のひと・こと・ものをつなぐ、より豊かな人間関係を進んで築く大切さについて「福祉」の視点から総合的な学習で学んでいます。今回は生きがい大学のみなさんと仲良くなることを目的に、『なかよし大作戦』と題して入念に準備を進めてきました。授業では生涯学習課の担当者の方をお招きし、どんな発表やゲームと一緒に楽しめるか等のご助言をいただきました。

『なかよし大作戦』本番当日は、入場の際に手拍子でお迎えしたり、積極的に声をかけたりと、生きがい大学のみなさんに楽しんでもらえるように子ども達は活動することができました。生きがい大学のみなさんからは、「楽しかったよ」「ありがとう」といったお声をいただきました。

今回の活動を通じて、子ども達は他者と協力・協同しながら主体的に行動する楽しさや大切さについて学ぶことができました。ご協力いただいた生きがい大学のみなさん、生涯学習課のみなさん、ありがとうございました。



単P研「親子で楽しいものづくり」

12月9日（土）、PTA 研修会として「親子で楽しいものづくり」が開催されました。今回は厚岸町木工センターを会場にして、木工体験を行いました。木工センターの指導員の方の丁寧な説明により、木工初体験の子ども達も上手にブックスタンドを完成させることができました。企画運営に携わったPTA 研修部とご協力いただいた木工センターのみなさん、ありがとうございました。



スクールサポートスタッフ

11月下旬より、スクールサポートスタッフとして梶谷 綾さんが本校に着任しました。主な勤務内容として、校舎内トイレの清掃補助や、スクールバスで下校する児童の乗車確認補助などを行っていただいています。文字通り、校務をサポートしていただき大変助かっています。

「香害」及び「化学物質過敏症」に関する実態調査結果

厚岸町教育委員会ホームページでは、「香害」及び「化学物質過敏症」について、厚岸町内の児童・生徒、保護者、教職員のアンケート調査結果を掲載しております。

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。調査結果をご覧ください、改めましてご家庭で「香害」及び「化学物質過敏症」について、関心を持ち、考えるきっかけとさせていただきますと幸いです。

<http://edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/news/1823/>

学校閉庁日のお知らせ

12月29日（金）から8日間、学校閉庁日となります。この学校閉庁は、働き方改革の一環として取り組まれているものです。

この期間中、学校は職員不在となりますので、電話等の対応はできなくなります。もし緊急で学校へ連絡が必要な場合は、厚岸町教育委員会まで連絡するようにしてください。

◎学校閉庁日期間

令和5年12月29日（金）～令和6年1月5日（金）

◎緊急連絡先：厚岸町教育委員会

電話：0153-52-3131

学年・学級閉鎖措置へのご協力、ありがとうございました。

皆様もすでにご承知のように、先月末より町内でインフルエンザの流行が拡大しております。本校におきましても、今月中旬頃から発熱による欠席が急増しました。そのため、教育委員会や学校医と協議し、子ども達の健康を保持する観点から、学年・学級閉鎖の措置を適宜とらせていただきました。

保護者の皆様におかれましては、学年・学級閉鎖に際しましてお子さんのお迎えやオンラインによる朝の会や学習会へのご対応など、ご多忙の中ご協力いただき誠にありがとうございました。冬休み中も、引き続きインフルエンザや他の感染症が流行することが考えられます。ご家庭でも健康に留意され、よいお年をお迎えください。

真龍小学校便り おすすめ本(R6.1月号)

『あしたもオカピ』

作：斉藤倫 絵：facomi

真龍おはなし隊：澤口明代

あなたはオカピという動物を知っていますか？生きた化石とも呼ばれる世界三大珍獣のひとつで、日本では2カ所の動物園でしか見ることができません。足とおしりだけがしましなもので、シマウマにも似ているようで違います。耳や顔はロバにも似ています。よく見ると、ちょっとだけ角もある、ふしぎな動物です。

ある夜のこと、空にはよつばのクローバーの葉っぱの一枚だけに似ているような月が浮かんでいました。すると、飼育員さんがこんなことを教えてくれます。

「よつば月の よるには、どうぶつたちの ねがいごとが なんでも かなうんだよ。」

それならひとつだけ、と、オカピは、動物園中の小屋や柵の鍵を全部開けておいてほしい、と飼育員さんをお願いします。

長いはなをすっきりさせたいゾウや、本をよみたいメガネザル、かわいい服がきたいカンガルーに、知らないどこかに行ってみたいコアラ。はじめて出会ういろいろな動物たちと話をする度に、オカピはシカだとか、ウマだとか、シマウマ、ロバなどと間違えられて、複雑な気持ちになります。けれども動物たちと話したり、一緒に過ごすうちに、オカピの心にある変化が……。

ねがいごとって、実は悩んでいることとつながっているものなのかもしれませんね。もし空によつば月が見えたら、みなさんはどんなことをねがいますか？

この本は低学年から一人で読めるので、絵本からのステップアップ本に最適です。厚岸情報館に所蔵があります。



冬休みの期間は12月23日（土）～1月16日（火）です。
来年もよい年になることを祈念しております